



やいはば 議会だより

常任委員会視察報告

先進地から 学んで生かす 2

一般質問 町政を問う

土地利用の制度活用は 一般質問9議員 11

議会広報モニターを募集します 23

203

2018.1.16

岩手県
矢巾町議会

楽しく餅つき
(関連記事…P24)

学んで生かす

今後、視察研修で学んだ成果を町に対して提言してまいります。

**総務
常任委員会**

日程 11月7日～9日（3日間）

視察先 神奈川県足柄上郡山北町、山梨県都留市、東京都八王子市

市民の力を生かしたまちづくり 東京都八王子市

◆視察テーマ 協働のまちづくり

市には協働推進課が設置され、市民の自発的な社会貢献活動を支援、促進するための市民活動支援センターがある。

定年退職者の知識や経験を生かし、地域活動の担い手となるように人材育成の場として市民塾やオトパ「お父さんお帰りなさいパーティー」、市民企画事業補助金制度がある。市民・事業者・市の相互の連携をまちづくりの柱としていた。

本町も町民と協働のまちづくりのさらなる推進が求められる。



特色あるまちづくりを研修(八王子市)

バス・タクシーの組み合わせで利便性を図る

山梨県都留市

◆視察テーマ 交通弱者対策

公共交通・循環バス・予約型デマンドタクシーで交通弱者対策を行っている。

循環バスは中心部を右回りと左回りで運行し、外郭地域をデマンドタクシーで運行。料金はバス1回100円、タクシー300円。

本町でもさわやか号の見直しが検討されており、循環バスとデマンドタクシーの併用により利便性が高まるものと期待される。

子育て世代を呼び込む

神奈川県山北町

◆視察テーマ 定住促進住宅整備

*PFIによる事業で総事業費は約10億円、6階建てで2LDK～3LDK。首都圏への通勤が可能という立地条件を生かした子育て世帯向けの町営住宅で、23世帯69人が転入しており、出生数の増加にもつながった。

本町の町営住宅は老朽化が進み、建て替えを急ぐ必要がある。特に矢巾住宅は利便性が良いため、現在居住している一人世帯の住宅確保とあわせ、子育て世帯への対応も求められる。



1階がコンビニの町営住宅(山北町)

※PFI：民間資金を利用して施設整備と公共サービスの提供を委ねる手法

先進地から

10月～11月にかけて、3常任委員会が先進地を視察研修しました。

産業建設 常任委員会

日程 11月13日～15日（3日間）

視察先 神奈川県秦野市^{はだのし}、静岡県伊豆の国市^{いたのくに}、静岡県田方郡函南町^{たがたくんかんなみちよう}

◆視察テーマ スマートICを生かした周辺土地利用構想

新東名高速道路の平成32年度供用に合わせて、秦野SAにスマートICの整備を目指し「スマートICを生かした周辺土地利用構想」を策定、2つの基本方針を掲げている。



スマートIC供用に先駆けた土地利用構想を学ぶ(秦野市)

①新しい玄関口として、観光や農業資源・レクリエーション機能の活用や都市住民との交流による地域振興を図る。

②広域交通の利便性を活かし、企業立地や近接工業団地の新たな産業用地の創出により、産業基盤の強化を図る。

本町でも、スマートICを生かした周辺の土地利用の構想策定とその実現に向け、地元・地権者等の合意形成に取り組んでいくことが望まれる。

交通の利便性を
生かした地域振興

神奈川県秦野市

住民の意見を 取り入れた道の駅

静岡県函南町

◆視察テーマ 道の駅設置構想

平成29年5月にオープンした道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」は、伊豆半島観光のゲートウェイ機能と防災機能の役割を担う施設として整備された。

町の活性化と観光振興の機能があり、観光客や地域の皆さんに親しまれ、伊豆のモノ、コト、ヒトが集まる情報基地となっている。

本町の道の駅構想は、徳丹城付近やスマートICを生かした設置等を、町民からの要望・意見を聞きながら早急に検討することが望まれる。



観光・交流、災害時拠点の道の駅(函南町)

政策提言に つなげる

教育民生 常任委員会

日程 10月24日～26日（3日間）

視察先 三重県いなべ市、岡山県勝田郡奈義町

地域のつながりによる 医療費などの削減

三重県いなべ市

◆視察テーマ 地域と協働の出前型健康づくり

いなべ市は合併時、医療費が高いとの意見があり、市民が気軽にスポーツに親しみ、体を動かすことによる元気づくりの取り組みを開始。

通所型（体育館等）元気づくりからスタートし、各地域にコーディネーターが出向く出前型、健康増進介護予防事業により、地域とのつながりを創出、元気高齢者の仲間づくり、健康づくりは「元気システム」いなべモデルとして多くの成果を得ている。

本町でも、リハビリ体操指導者育成事業を実施し指導しているが、養成講座の受講者は役場職員等である。最近希薄化している地域の活性化を図るために一般希望者の参加を募り、地域で見守りを含めた取り組みが求められる。



元気づくり体操で医療費の削減（いなべ市）



自然に囲まれた中で子育てにも優しい奈義町（奈義山麓山の駅）

23項目に及ぶ 子育て支援で高い出生率

岡山県奈義町

◆視察テーマ 子育ての手厚い支援

奈義町では、平成24年に子育て宣言。合計特殊出生率2.81を達成、著しい成果を上げている。

人口減少・少子高齢化の課題解決のため、住宅・就労・子育て支援・定住促進を図る施策を実施。経済的負担軽減を図るため、若者向け賃貸住宅を整備。ひとり親家庭へ福祉年金、多子家庭へ保育料軽減策、在宅育児支援

策、大学進学育英資金等を実施。出産祝い金として第1子10万円、第2子15万円、第3子20万円、第4子30万円、第5子以降40万円、不妊治療に年30万円を5年間支給等、支援策を講じることにより子育て環境が充実している。

本町の出生率は1.47と低く、具体的な23項目の多岐にわたる子育て支援対策を学び、新しいまちづくりの参考としたい。

より使いやすい斎場に

10月23日に開催された10月会議では、条例改正議案と一般会計の補正予算が議決され、一般会計の総額は約119億7978万円となりました。

10月会議

条例

農業委員の報酬に関する条例

農業委員の報酬として、農地利用の最適化に係る活動及び成果の実績に応じて、国から交付金が報酬として支給されます。

条例の審査は産業建設常任委員会に付託され、次の2項目の附帯決議を付して可決しました。

- ①活動実績及び成果実績の評価方法、報酬の算定評価点及び係数等の早期明確化を。
- ②農業委員候補者の推薦及び候補について、応募者が役割や業務内容を十分に認識できるように明記を。

火葬場条例

火葬場使用料と火葬時間の改正を行います。条例の審査は予算決算常任委員会に付託され、次の3項目の附帯決議を付して可決しました。

- ①より使いやすい施設となるよう早期の対応を求め。
- ②火葬炉の更新など早期の対応と、施設の改修計画を進められたい。
- ③将来的な展望に立った構想を示されたい。

火葬時間		現在	1月1日から
		午前10時	午前10時
	午前11時	正午	
	午後2時	午後2時	

使用料	町内 在住者	改葬	現在	4月1日から
			10歳以上	4,000円
	10歳未満	3,000円	7,000円	
	改葬	3,000円	7,000円	
町外 在住者	10歳以上	35,000円	50,000円	
	10歳未満	25,000円	35,000円	
	改葬	25,000円	35,000円	



使用料・時間が変わる矢巾斎苑

施設整備を先に

反対討論

- ①盛岡市・紫波町と同額となるが施設整備内容が同等となっていない。
 - ②黒煙の発生、施設が狭い等の問題が解決していない。
 - ③上下水道料金の値上げをしただけである。
- 以上の3点から条例改正に反対する。
川村 よし子

補正予算

補正予算の審査は予算決算常任委員会に付託され、審議されました。

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

- ▽一般寄附金の増 2000万円
- ▽省CO2改修事業費補助金 2344万円

主な歳出

- ▽省CO2改修事業 測量調査設計 2224万円
- ▽ふるさと納税運営業務 委託料 300万円
- ▽臨時福祉給付金給付事業 210万円

低所得者へ給付

質問 低所得者への臨時福祉給付金増額の内容は。

回答 申請漏れ防止のため再度対象者への通知を行い、新たに140名分の申請を受けたいものである。

人気の返礼品は

質問 ふるさと納税の返礼品で評価の高いものは。

回答 通常時は肉や米、リンゴの人气が高く、季節限定としての松茸が人気であった。

二酸化炭素排出削減の モデル事業に着手



11月17日に開催された11月会議では、3件の工事請負契約が議決されました。

議会で決めたこと

11月会議

工事請負契約

公共施設等省エネルギー 改修その1工事

役場庁舎、町民総合体育館、町公民館、田園ホール、さわやかハウス、不動小学校及び学校給食共同調理場のLED照明への更新と、調理場厨房機器の省エネルギー型への更新を約3億2659万円で行います。

この事業は、環境省から公共施設等先進的・二酸化炭素排出削減対策モデル事業として採択されました。

質問 工事期間と、町民への 周知方法は。

回答 工期は2月9日までの予定である。利用者への直接的な影響がある場合は、各施設で直接お知らせする。

広報では時期が合わないことが考えられるため、現場での直接周知とホームページでのお知らせを考えている。

矢巾S-C関連町道堤川目 線道路改良その3工事

矢巾スマートインターチェンジ関連周辺道路整備事業として、町道堤川目線の拡幅改良及び歩道設置工事を約5357万円で行います。

矢巾S-C関連町道堤川目 線・宮田線道路改良工事

矢巾スマートインターチェンジ関連周辺道路整備事業として、町道堤川目線と町道宮田線との交差点改良及び歩道

設置工事を1億2204万円で行います。

質問 工事期間と、町民、特に 小中学生への周知方法は。

回答 工期は3月31日までの予定である。各学校へお知らせするほか、広報での周知を行う予定である。

スマートインターチェンジ関連工事については、各学校長や警察で組織するすくすくネットワークを通じて周知しており、通学路の利用についても注意喚起を行っている。



省エネルギー型へ更新予定の共同調理場

みなさんからの請願

▽日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願者

岩手県原爆被害者団体協議会 ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会
会長兼代表 伊藤 宣夫
紹介議員 昆 秀一
川村よし子

採 査 意 見 全 員 賛 成

採 査 意 見

核兵器禁止条約の国連会議において、核兵器禁止条約が国連加盟国の3分の2にあたる122カ国の賛成で採択される中、唯一の戦争被爆国の日本は核保有国と歩調を合わせ参加しなかった。

核兵器の悲惨さを知る唯一の国として、いち早く調印し、国会での批准を経て条約に参加することを求める本請願の主旨は理解できるものとして、採択すべきとした。

副町長に水本氏を選任

12月5日～14日までの10日間で開催された12月会議では、人事案件に同意したほか、町内5施設の指定管理者の指定について議決しました。また、補正予算は一般会計、4特別会計及び2企業会計が提案され、審議は予算決算常任委員会に付託されました。補正予算は附帯決議を付して可決され、一般会計の総額は約121億9259万円となりました。

12月会議

人事案件

副町長の選任



みづもと よしのり
水本 良則さん
(北郡山) 新

教育委員会の委員の任命



うるしほら ようこ
漆原 祥子さん
(上矢次) 新

条例

職員の給与に関する条例

人事院勧告に基づき、条例を一部改正します。

町長等の特別職については、期末手当を引き上げます。

一般の職員については、給料表の改定及び勤勉手当の引き上げを行います。

議会で決めたこと

質問 一般職の給料総額はどの程度上がるのか。

回答 給料は総額約124万円の増、勤勉手当は総額約51万円の増となる。

道路占用料に関する条例及び水路条例

道路法施行令の改正に伴い、道路占用料について改定を行います。

また、道路占用料の条例改正に伴い、水路占用料の額についても改定を行います。

質問 道路占用料の町収入はどの程度上がるのか。

回答 電柱などの占用料が主なものであり、約17万円程度の増額を見込んでいる。

行政情報公開条例

行政情報の定義の明確化を行うほか、誰でも情報公開を請求できるようになります。

質問 町外の方であっても情報公開請求を行えるのか。

回答 以前までは町に利害関係を有する者と限定されていたが、今回の改正により町外の方でも公開請求ができるようになる。

が、今回の改正により町外の方でも公開請求ができるようになる。

育児休業等に関する条例

町の非常勤職員の育児休業について、保育所に入れない場合等は2歳までの再延長が認められるよう改正します。

質問 男性職員の育児休業取得状況は。

回答 男性職員の取得実績はない。



定員増を予定している北高田保育園

個人情報保護条例

個人情報保護法の改正に伴い、「個人識別符号」「要配慮情報」を定義します。

質問 災害時は共助の面が重視されているが、支援が必要な住民について町はどう考えているか。

回答 災害等の緊急事態と、法が定義する情報保護の範囲とを慎重に検討していく。

質問 個人情報保護の強化策はどのように行うか。

回答 システム強化のほか、セキュリティポリシーの共有によって一層の保護強化を図っていく。

個人番号利用・特定個人情報提供に関する条例

医療費助成の範囲を中学生までに拡大したことにより、子どもの定義を改正します。

また、難聴児に係る補聴器購入助成の聴力に係る要件を緩和しました。

質問 今後医療費助成が高校生まで拡大される場合は、高校生も子どもと定義されるか。

回答 助成範囲が拡大された場合には、高校生も子どもとして定義される。

情報を発信

議会で決めたこと

指定管理者の指定

町立徳田児童館、煙山児童館、不動児童館

町内の3児童館について、社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会を指定管理者とします。期間は平成30年4月1日から3年間です。

町立矢巾東児童館

矢巾東児童館について、特定非営利活動法人矢巾ゆりかごを指定管理者とします。期間は平成30年4月1日から3年間です。

質問 支援の必要な児童の受け入れに関し、理解が足りないと感じられる点が以前あったが、受け入れ状況の改善はされているのか。

回答 職員間の勉強も行き、理解を図っている。集団での遊びが難しい児童に関して、必要な場合には調整を行っている。

質問 3年間の管理となるが、児童が増加した場合に指定管理料の見直しも行われるのか。

回答 特別な事情のある場合には、協定の見直し等状況を反映させていく。

矢巾斎苑

矢巾斎苑について、株式会社J Aシンセラを指定管理者とします。期間は平成30年4月1日から3年間です。

質問 本町の指定管理の選定方法について、公募によるもの・公募しないものの比率は。

回答 今回提案した4児童館と矢巾斎苑は非公募。グリーンハイツ、キャンプ場については公募している。残り11施設は公募していない。

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

▽高齢者及び障がい者にやさしい住まい作り推進事業費

補助金
20万円

主な歳出

▽障害児通所給付費

1784万円

▽国民保養センター

指定管理料

773万円

▽健康チャレンジ事業委託料

363万円

▽進要保護就学援助費

(小中学校計) 272万円

▽河川改良事業

270万円

▽防災ラジオ行政番組運営

事業委託料
138万円

▽生産調整推進対策特別事業

98万円

番組内容の検討状況は

質問 防災ラジオの番組内容の検討について進捗状況は。

回答 番組検討委員会では放送時間案などの検討を行っている。内容についても、町の人に焦点を当てたもの、学校訪問などのアイデアが出されており、今後検討を進めていく。放送開始後にはモニターを募集し、さらに発展的な番組作りを目指していきたい。



元気に利用する子どもたち(矢巾東児童館)

町の

2月から ラヂオもりおかで

番組制作の人材確保は

質問 行政番組を毎日15分制作・放送するための人材確保はどうする考えか。

回答 ラヂオもりおかも協力し、制作・取材などの経験がある方に嘱託職員としてお願いしたいと考えている。

指定管理料の増額は

質問 国民保養センター指定管理料が増額した要因は。

回答 上下水道料のほか、最低賃金の見直しに伴う人件費によるものである。

健康チャレンジの内容は

質問 健康チャレンジ事業の対象者と事業内容は。

回答 今年度は役場職員50名を対象とし、健康チェック用機器の購入やセミナーなどの開催を予定している。来年度以降は町民を対象とし、無理なく食習慣、運動習慣を改善できる取り組みを考えている。

リフォームの内容は

質問 高齢者及び障がい者にやさしい住まい作り推進事業の内容は。

回答 障がい者の方の風呂場のリフォームを実施するものである。

障がい児通所給付増は

質問 障害児通所給付費の増額の要因は。

回答 サービス利用者、事業所の増によるものである。

漏水調査の実施

質問 南昌グリーンハイツの指定管理料増額の要因は。

回答 今年度の利用料減免分と漏水調査実施分である。

入学準備金の

支給時期は

質問 準要保護児童就学援助費の増について、対象者の増によるものか、それとも入学準備金として計上するものか。

回答 就学援助費の支給要綱を改正し、入学準備金を4月

前に支給するものである。小学校は約20名、中学校は約30名分を見込んでいる。

農業の生産調整

事業の詳細は

質問 生産調整推進対策特別事業の詳細は。

回答 生産調整推進対策特別事業について、国に申請した額と交付決定された額との差を計上したものである。県からの交付金もあり、農家の方には12月中に満額交付できることとなっている。

河川改修の場所は

質問 河川改修費用の増額の詳細は。

回答 あさあけの園付近の側溝整備費用である。

発議案

議員報酬及び

費用弁償に関する条例

人事院勧告により、特別職と同様、議員の期末手当を引き上げます。

各議案の採決状況

平成29年定例会10月会議（条例4件 全議案可決されました）

【第70号】 反対：川村よし子、小川文子 ほか賛成
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び証人等の実費弁償に関する条例の一部改正
農地利用最適化交付金を農業委員の報酬として支給する

【第71号】 賛成全員
矢巾町国営土地改良事業負担金徴収条例の一部改正

【第72号】 反対：川村よし子、小川文子 ほか賛成
矢巾町火葬場条例の一部改正
火葬場使用料の改定と火葬時間の改正

【第73号】 賛成全員
一般会計補正予算（第6号）
2210万円の増額

平成29年定例会11月会議（契約3件、発議案1件 全議案可決されました）

【第74号】 賛成全員
矢巾町公共施設等省エネルギー改修その1工事請負契約締結
公共施設へのLED照明への更新と共同調理場の厨房機器の更新を行い、二酸化炭素排出削減対策を行う。契約金額は3億2659万2千円

【第75号】 賛成全員
矢巾SIC関連町道堤川目線道路改良その3工事請負契約締結
矢巾スマートインターチェンジ関連周辺道路整備事業で、町道堤川目線のSICの南側、道路の拡幅及び歩道の設置を行う。契約金額は5356万8千円

【第76号】 賛成全員
矢巾SIC関連町道堤川目線・宮田線道路改良工事請負契約締結
矢巾スマートインターチェンジ関連周辺道路整備事業で、町道堤川目線と町道宮田線との交差点改良及び歩道の設置を行う。契約金額は1億2204万円

【発議案9号】 賛成全員
日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書の提出

平成29年定例会12月会議（条例10件、補正予算6件、人事案2件、発議案2件、その他5件 全議案可決、同意されました）

【第77号】 反対：昆秀一 ほか賛成
教育委員会の委員の任命に関し同意を求めること
任期満了に伴い、新たな教育委員として漆原祥子氏の任命に同意

【第78号】 賛成全員
岩手県市町村総合事務組合における共同処理する事務の変更及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めること
紫波、稗貫衛生処理組合が解散することに伴う規約変更

【第79号】 賛成全員
岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議に関し議決を求めること
紫波、稗貫衛生処理組合が解散することに伴う退職手当に係る負担金に関する財産処分の協議

【第80号】 反対：昆秀一 ほか賛成
特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正
本町の特別職職員の給与額（期末手当）について、0.05か月分増額

【第81号】 賛成全員
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
本町職員の給与額（勤勉手当）について、一般職は0.10か月分増額、再任用職員は0.05か月分増額

【第82号】 賛成全員
町立都市公園条例の一部改正
都市公園法の一部改正により、法律条項の改正を行うもの

【第83号】 賛成全員
町道路占用料に関する条例の一部改正
道路法施行令が改正され、道路占用料の改定を行ったことに伴い、町の占用料を改定するもの

【第84号】 賛成全員
町行政情報公開条例の一部改正
定義の明確化を行い、誰でも行政情報の公開請求ができるように改正

【第85号】 賛成全員
町水路条例の一部改正
町の道路占用料を改定することにあわせて、水路占用料を改定

【第86号】 賛成全員
職員の育児休業等に関する条例の一部改正
非常勤職員について、子が2歳に達する日まで育児休業を取得できるよう改正

【第87号】 賛成全員
手数料条例の一部改正
平成30年度から紫波町汚泥再処理センターで屎尿処理することに伴い、一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可等に関する手数料について定める

【第88号】 賛成全員
個人情報保護条例の一部改正
個人情報の定義をより明確化（指紋データ、旅券番号等の個人識別符号も該当すること。要配慮個人情報を明確化）

【第89号】 反対：昆秀一 ほか賛成
個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
医療費助成を中学校までにしたことに伴い、子どもの定義を12歳から15歳に改正

【第90号】 賛成全員
矢巾町立徳田児童館、矢巾町立煙山児童館及び矢巾町立不動児童館に係る指定管理者の指定等に関し議会の議決を求めること
徳田・煙山・不動の3児童館の指定管理者を、社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会とする。指定期間は3年間

【第91号】 賛成全員
矢巾町立矢巾東児童館に係る指定管理者の指定等に関し議会の議決を求めること
矢巾東児童館の指定管理者を特定非営利活動法人矢巾ゆりかごとする。指定期間は3年間

【第92号】 賛成全員
矢巾斎苑に係る指定管理者の指定等に関し議会の議決を求めること
矢巾斎苑の指定管理者を株式会社J A シンセラとする。指定期間は3年間

【第93号】 賛成全員
一般会計補正予算（第8号）
2億1272万円余の増額

【第94号】 賛成全員
国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
1500万円の増額

【第95号】 賛成全員
介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
786万円余の増額

【第96号】 賛成全員
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
593万円余の増額

【第97号】 賛成全員
水道事業会計補正予算（第2号）
①収益的収入28万円の増額 ②収益的支出183万円余の減額
③資本的支出21万円余の増額

【第98号】 賛成全員
下水道事業会計補正予算（第2号）
①収益的収入（農業集落排水）2万円の増 ②収益的支出（公共下水道事業）16万円の減額 ③収益的支出（農業集落排水）1702万円の増額 ④資本的支出（公共下水道）の増額597万円余の増額

【第99号】 反対：昆秀一 ほか賛成
副町長の選任
新たな副町長として水本良則氏の選任に同意

【発議案10号】 反対：昆秀一 ほか賛成
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
町議会議員の給与額（期末手当）について、0.05か月分増額

【発議案11号】 賛成全員
道路整備に係る補助率のかさ上げ措置等の継続を求める意見書の提出

※廣田光男議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと



今後の共生に向けて（あさあけの園）

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

12月会議では9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

一般質問
町政を問う

●山崎道夫議員……………P12

- ①土地利用計画の具体的構想と実現
- ②道の駅構想の実現に向けた取り組み
- ③ドローンを活用した災害等への対応

●村松信一議員……………P14

- ①町施設へのボルダリング施設の設置
- ②農事組合法人の支援・強化策
- ③平成30年度当初予算の基本的な考え

●高橋安子議員……………P16

- ①今後の高齢化対策
- ②家庭的保育事業の取り組み
- ③町民センター食堂改修の進捗状況と完成後の利用

●川村よし子議員……………P18

- ①保育事業の充実
- ②住宅リフォーム助成制度実施と公契約条例制定
- ③高齢者の介護支援

●小川文子議員……………P20

- ①2018年度の国保税
- ②国保税及び後期高齢者医療保険料の滞納者への納税相談
- ③子どもの医療費助成の拡大
- ④町民へのきのこ食の普及

●昆秀一議員……………P13

- ①特別な支援の必要な子どもたちへの療育
- ②障がいを持つ方が活躍できる町づくり
- ③政策循環による計画の推進
- ④ターミナルケアへの支援策

●赤丸秀雄議員……………P15

- ①小中学校を取り巻く環境の改善
- ②子育て、高齢者支援の更なる改善
- ③防災ラジオの運用に向けた準備状況

●廣田清実議員……………P17

- ①西部地区の観光
- ②音楽のまち宣言後における事業展開
- ③地方創生

●藤原梅昭議員……………P19

- ①ダイバーシティ（多様な人材の活用）
- ②スマートシティ（IT・環境技術を駆使した環境配慮型都市）
- ③教育環境整備

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

土地利用の制度活用は ガイドラインと条例を整備



やまざき 山崎 道夫 議員
(一心会)



にぎわいを創出している道の駅十文字(横手市)

質問 市街化調整区域における地区計画制度の活用に向け、都市計画マスタープランの改定はどの程度進んでいるのか。

町長 これまで改定検討委員会を2回開催したが、今後、関係機関との協議、パブリックコメントなどを実施し、今

年度末の完成を目指し、取り組んでいる。

また、土地利用の方針のほか、地区計画策定に係る町や申し出者となる開発者、住民等がするべきことを示すガイドラインの策定と、地区計画申し出制度の条例整備を進めていく。

質問 企業立地のニーズの把握と、企業誘致の方策は。

町長 運送業、製造業の問い合わせが多い。

今後、企業立地セミナー実施と新たな工業団地の整備を検討する必要があると考えている。

道の駅

設置の計画は

今年度中に

基本計画を策定

質問 道の駅設置は町民の関心も高いが、具体的計画についてどの程度検討されているのか。

町長 本年度中の基本方針策

定に向けて、先進地事例等を調査し、さまざまな道の駅の設置者や駅長から、実績に基づく意見やデータ等を収集している。

今後のスケジュールとしては、平成30年度中の事業計画策定と候補地選定に向け、詳細な交通量調査を行い事業化に向け準備を進めていく。

防災活動に

ドローン活用を

業務委託や貸与で活用を検討

質問 ドローンを活用し防災等に役立てている自治体が増えているが、本町においても導入を進めてはどうか。

町長 ドローンの技術は日進月歩であり、当面は民間団体や事業者との業務委託や協定による貸与で、各種イベントや災害時に活用する方法を考えている。

なお、操縦資格は職員と消防団員の2人が取得している。

特別支援教育に対する考えは 一人一人のニーズを把握し支援



こん 昆 議員
しゅういち 秀一 議員
(一心会)

質問 教育委員の特別支援教育の認識と考え方を問う。

教育長 通常の学級での指導では十分な効果を上げることが困難な児童生徒に、きめ細かい教育を行うことが特別支援教育と認識している。

今後も、一人一人の教育ニーズを把握し、さらなる就学支援をしていく考えである。

質問 紫波郡特別支援学級の学習発表会は、年々規模が縮小しているように思う。

もっと多くの方に参加してもらい、児童たちの一生懸命な姿を見ていただき、交流できる機会にはは。

教育長 ぜひ、今後はそのような機会にしたい。

障がい者と地域の共生は各地の取り組みを参考に検討

質問 障がいを持つ方と地域との共生をどのように行い、今後どのように推進していくつもりなのか。

町長 地域共生社会の実現に向けて、来年度から各地の取り組みを参考に、会場等運営方法・資金の確保策について検討を進めていく。



県の療育拠点となる施設と、今後町は連携を深めていく(県立療育センター)

町計画の評価 第三者機関でさまざまな評価で公平・透明性を確保

質問 町計画の策定には、策定委員会を設置することが多いが、評価に対しても第三者委員会を設置して行うべきではないのか。

町長 評価法については、第三者機関を設ける方法や内部評価を行い、その後公表する方法などがある。

本町としては、内部評価をする場合にも、公平・透明性が確保されるように努め、その結果は公表するようにしている。

質問 計画の推進には職員の働きが必要である。人事評価により、ほめて育て職員やる気を喚起してはどうか。

町長 今後は厳しくするばかりではなく、職員のやる気が出るように、時にはほめることもしていこうと思う。

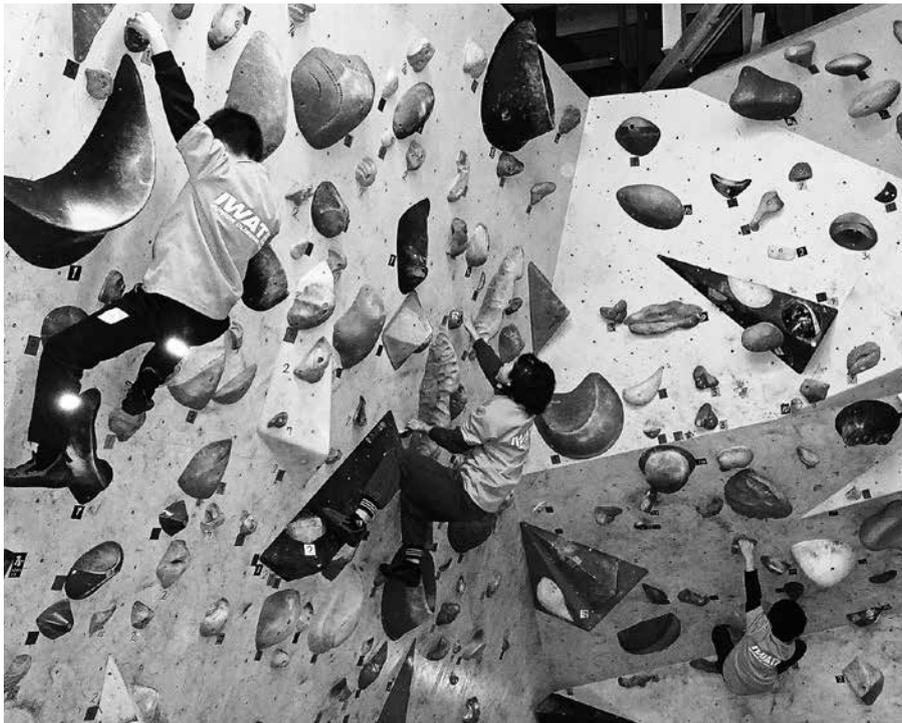
町内にボルダリング設備を 設置について時期や場所を検討



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)

質問 東京オリンピック種目であるボルダリングは、年齢・性別を問わず年間を通じて楽しめ、子どもには集中力、思考力、判断力、忍耐力や目標達成の継続力が身に付く。大人にはダイエットや健康づくり、さらにはうつ病治療にも効果があるといわれている。体育施設の充実、健康増進施設として、公共施設に設置する考えはないか。

教育長 全国的にボルダリングが注目され、今後普及が見込まれている。幼児教育、健康づくり、うつ病対策にも効果があることから、関係課と連携し設置について、時期や場所の検討をしていきたい。



健康づくりにも有効なボルダリング

質問 法人を株式会社にすることで、農家レストラン経営、太陽光発電の売電や町道の除雪などの事業もできるが、今後の方向性をどのように考えるか。

町長 株式会社は事業の目的が限定されず、農業以外の事業も可能なので、事業計画によっては適している営農組織もあると考えている。適切な法人形態を考慮し法人化に係る支援をしていく。

質問 新規法人化に向けた状況は。

町長 平成30年度までに、5集落営農組織が法人化を目指しており、当該営農組織への説明会などを実施し、支援している。

質問 小学生に夢を持たせるために、小学校に設置してはどうか。

町長 成長に寄与する運動ではあるが、壁の強度や費用の面から直ちに設置することは難しい。

農事組合法人の強化を 経営強化の支援に 努めていく

質問 農事組合法人の組織を

強化するため、経営が安定するまで期間限定で特別支援策を実施すべきではないか。

町長 農地中間管理機構を介した農地の貸付、経営基盤強化準備金の積立金への免税、研修費の補助などを活用して経営強化の支援に努めていく。



あかまる ひでお
赤丸 秀雄 議員
(一心会)

小中学校を取り巻く教育環境は 学力にレベル差はない状況



中学生のハンドボール競技は町内2校とも大活躍(郡中総体)

質問 町内4小学校の児童数の違いにより、学校規模格差が生じているが教育の格差は出ていないか。
教育長 各小学校は特色ある教育を行っている。
徳田小学校では租税教室を開催している。

煙山小学校は吹奏楽が盛んで、東北大会で金賞受賞する技術がある。
不動小学校は地域芸能の伝承に力を入れ不動っ子の集いを毎年開催している。

矢中東小学校は文部科学省の指定により、理科の推進校として活動している。

また、小学校6年生の学力テストは全国・県内平均より上回っているものが多く、小学校間に学力レベルの差はない状況である。

質問 2中学校の活動状況はどうなっているか。
教育長 中学校は生徒数が同規模であり、スポーツでは良きライバル意識のもと双方頑張つてよい成績につながっている。

子育て・高齢者支援の改善策は環境整備に努める
質問 若い世代の定住対策として、子ども預かりや保育

料などにさらなる助成を強化する考えはあるか。
町長 保育料等助成制度は、これまでも国を上回る負担軽減に取り組んできた。国の現在の検討状況を踏まえ、子育てしやすい環境に努める。

質問 自治公民館をもっと活用して高齢者が楽しく過ごし、健康寿命を伸ばすよう取り組んではどうか。
町長 高齢者支援の取り組みは今後ますます重要である。どのようなことが喜ばれ、健康維持に必要か再検討し、身近な公民館で実施できるように努めたい。

防災ラジオの準備状況は番組編成を検討中
質問 安全と情報提供に便利な防災ラジオの導入準備は。

町長 2月の放送開始に向け、現在番組編成を検討中である。便利さをPRし、さらなる利用者数の増加に努めたい。

これからの高齢化対策は 有効な見守り体制を目指す



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)



矢幅駅前に建設中の新しい保育園

一般質問 町政を問う

質問 一人暮らし及び高齢者のみの世帯数と、見守りが必要な高齢者は何人か。

町長 調査を毎年11月に実施しており、一人暮らし世帯数は613世帯、高齢者のみは717世帯あり、うち見守りが必要な75歳以上の方は

133人である。

質問 町では、緊急通報装置貸与事業やお元気見守りシステムへの登録を行っているが、今後、多くの高齢者を対象にマイナンバー等を活用した見守り事業の考えはあるか。

町長 今は、地域の見守りのほか、年1回保健師等が訪問健康状態の把握に努めている。今後もマイナンバーの活用等により有効な見守り体制の構築を目指す。

保育事業の 取り組みは

来春4月から
定員を90名増

質問 6月に待機児童対策として、家庭的保育事業の質問をした際、盛岡市と連携し検討中との答弁だったが、その進捗状況と開始時期は。

町長 課題を精査しながら来年度から開始する。保育園は、4月から新設及び定員拡大により、90名の増員となる。

質問 90名増員の内訳は。

町長 0歳児9人、1歳児9人、2歳児24人、3歳児15人、4歳児16人、5歳児17人がそれぞれ増加となる。

質問 定員が増えることにより、部屋等の施設に無理はないか。

町長 基準に沿った運営を行っており、必要に応じて環境整備にも力を入れていく。

旧町民センター 食堂利用は

健康増進の
拠点に

質問 旧町民センター食堂改修後の利活用は。

町長 健康増進の拠点及びタニカカフェとして活用する。

質問 毎月1回、こども食堂や認知症カフェ、高齢者が働く場所として使えないか。

町長 関係者、事業者と協議し検討する。

今後のグリーンハイツは 閉館を含め検討



ひろた きよみ
廣田 清実 議員
(町民の会)

質問 町営グリーンハイツの来年度の営業はどのようになるのか。

町長 本年9月末で営業を終了した。その後、施設の点検をした結果、40年以上経過した建物・設備であるため、来年度の通常営業には、多額の改修工事費用がかかることが判明した。よって、来年度は閉館を含め、町民に周知する方法を検討していきたい。

質問 西部地区の観光についての考えは。

町長 ひまわり畑の来場者に向け、案内標識、駐車場、トイレのほか、季節限定の産直や軽食を提供する施設を整備する。併せて周辺観光施設の活性化も図る。



健康づくりに寄与してきた南昌グリーンハイツ

音楽のまちの 事業展開は

3つの柱を中心に

質問 昨年「音楽のまち」宣言をしたが、今後の事業展開

と小中学校への支援内容は。

教育長 3つの柱として、①

田園ホールを会場に、町民と共同で作り上げるコンサート。
②町芸術祭にプロのゲストを招いて町民の出演者の底上げと活性化を図る。③日常生活に音楽を取り入れ、音を楽し

地方創生事業 の検証は

一定の前進があった

質問 地方創生加速化交付金事業のウエルネスタウン構想検証は。

町長 総事業費は、6800万円であったが、県外企業に4800万で事業委託した。雇用創出には結びつかなかったが、一定の前進があったと受け止めている。

質問 旧町民センター食堂の改修工事の予算と完成時期は。

町長 改修工事費は総額約8700万円。その内、設計デザイン費用は県外企業のアマナに1274万で契約をする予定である。本年度中の完成を目指している。

保育士確保に奨学金を 奨学金返済補助金を検討



かわむら
川村 よし子 議員
(日本共産党)

質問 待機児童解消には保育士確保が必要ではないか。

町長 保育士確保のため、保育士に対する奨学金返済補助金を交付している自治体があり、効果を検証し検討する。

質問 平成29年度から開始した保育士就学資金貸付制度を利用している町内関係者は。

町長 制度を利用したのは町内では1名である。

質問 町立保育園は正職員採用と施設整備の充実を図るべきではないか。

町長 適切な保育士配置基準となるよう各保育園、認定子ども園と情報共有し、保育士確保に努める。



0歳児3人につき1人の保育士が必要な保育事業

一般質問 町政を問う

住宅リフォーム 制度再開を 他事業で取り組む

質問 平成22〜24年度に住宅リフォーム制度を行っていた

町長 が、どう評価したか。
町内経済に一定の効果があったものと捉えている。

質問 住宅リフォーム助成制度は、現在県内18市町村で行われ地域を元気にしているが、再開する考えはないか。

町長 矢巾スマートインターチェンジ関連事業や岩手医科大学附属病院関連の事業などがあり、地域経済は落ち込んでいる状況にはないことから考えていない。

要支援の サービス状況

これまで通り実施

質問 認知症を含め要支援1・2の介護サービスを受けていた方で、利用料が高くなったためにサービス利用をやめたケースはないか。

町長 新総合事業に移行し、事業対象者35人全員にこれまでの訪問・通所サービスを実施している。

質問 介護サービス利用者支援は、低所得者層の利用助成が必要ではないか。

町長 さらなる助成は考えていないが、介護保険料の第一段階の保険料の軽減を引き続き実施していく。

多様な人材の採用を 経験豊富な即戦力を登用



ふじわら うめあき
藤原 梅昭 議員
(一心会)



フレッシュな職員たちの活躍を期待(平成29年採用職員)

質問 新人事評価制度の対応状況はどうか。

町長 人事評価は、今年度から給与への反映を開始し、職員的能力向上に活用していく。

質問 職員提案制度の成果は。

町長 今年度から実施し7提案あり、内容については、防災士・ドローン・区長の名称・消防団増員等の提案があり、今後精査し来年度の予算措置などを検討中である。

質問 職員の超過勤務状況は。

町長 平均では約10時間くらいである。それより多い職員もいるので、業務の偏りを調整し、超過勤務の削減に努める。余裕のできた時間でリフレッシュしてもらい、さらなる職員力の向上に期待したい。

質問 職員の年次休暇取得及び育児休業取得状況は。

町長 昨年の年次休暇は、職員平均で約6日となっており、職員が取得しやすい環境として取得促進に引き続き取り組む。育児休業は、女性が1人取

得している。男性取得者はないので、取得率向上に向け、職場環境の構築に努める。

環境配慮への 町の対応は 温暖化防止施策に 取り組んでいく

質問 温暖化に対する当町の考えと、その取り組み状況は。

町長 温暖化の要因である二酸化炭素の削減は重要な課題であり、再生可能エネルギーの普及や省エネルギーなどの取り組みが必要と考えている。取り組み状況としては、太陽光発電の一般家庭への設置助成、公共施設への率先導入や照明器具のLED化等を実施している。

質問 環境に対する小中学校での取り組みは。

教育長 岩手大学や東北電力の方を講師としエネルギー教室を開催している。そのほか環境支援団体で環境学習を実施している。

質問 職員採用の考え方は。

町長 町民のためにも考え、計画・実行できる人を用方針としている。
社会経験豊富で即戦力として期待できる中途採用職員を登用するために採用年齢引き上げを昨年度から行っている。

平成30年度の国保税は 今年度と同様で推移



おがわ ふみこ 議員
小川 文子 (日本共産党)

質問 平成30年度から国民健康保険の運営が市町村から県に移管され、本町の一人当たりの保険税が11万768円と県下で最高額となっているがどうか。

町長 平成35年度までの6年間、激変緩和措置がとられる予定であり、算定額の増加分は相殺される見込みとなっている。

質問 県は資産割を求めているが、今後も継続するのか。

町長 今回の納付金算定では所得割・均等割・平等割が用いられていることから、納付金算定との整合性を考慮し、今後、資産割は廃止する方向で進める。



インフルエンザの予防接種を受ける子ども(川久保病院)

短期保険証の発行は

子どもの保険証を 発行していく

質問 国保税・後期高齢者医

療保険料の滞納者への納税相談は。また短期保険証の留め置き状況は。

町長 窓口相談で、健康や就労に関し担当課が連携を図り対応している。

短期保険証の留め置きは国保税で45件あり、うち子ども

一般質問 町政を問う

のいる家庭は5世帯である。

質問 保険証がないことにより、医療費助成の恩恵を受けられない子どもがいることは問題ではないか。

町長 今後インフルエンザの発症もあることから、子どもの保険証を発行していく。

医療費助成 高校卒業までを 検証していく

質問 子どもの医療費助成を高校卒業まで拡大できないか。また、かかる経費は。

町長 約700万円が見込まれ、現時点では考えていないが、中学生の医療費助成の検証を行う中で検討する。

質問 利用者の負担軽減のために、医療費助成制度に窓口負担のない現物給付にできないか。

町長 未就学の子ども・妊産婦医療費の現物給付化が実現しており、県に要望していく。

あの質問はどうなった

過去に質問したことが現在どうなっているのか調査しました

就学援助制度の充実を

(平成28年9月定例会)

質問 小中学校入学の際、入学前の2月に申請してもらい、前倒しでの支給・支援ができないか。

回答 申請年度の前年所得に對して支給決定の判定をするため、所得確定前の申請による支援はできない。

現在は

平成30年3月より助成実施



就学援助費の支給要綱が改定され、平成29年定例会12月会議において、就学援助費の補正予算が可決されました。新入学用品の入学前の支給が可能になり、より充実した支援体制となりました。

不来方高校へ町民栄誉賞を

(平成29年3月定例会)

質問 不来方高校は創立から30年間、文武両道にわたってすばらしい成果を挙げ、矢巾町民に夢と感動を与えている。町民栄誉賞の授与と、学校行事で掲げられる旗を記念品として贈呈しては。

回答 各分野で輝かしい成果を挙げる不来方高校の功績に對して心から敬意を表し、町民栄誉賞を授与したい。記念品について、対い鶴がデザインされた校旗に勝るとも劣らないものを考えたい。



不来方高校創立30周年記念式典に先駆けて、10月31日に役場にて町民栄誉賞旗のお披露目式が行われました。

町民と町議会との 懇談会報告



10月28日(土)町公民館で開催しました

待機児童の解消は

質問 就学前の児童に対する問題について、待機児童の対策などはどうなっているのか。

回答 10月現在で50人の待機児童がいる状況。
来年4月から矢幅駅前に60人規模の保育園が開園する。同時に町内の保育園でも増員する予定であるが、それでも待機児童が増える予想されることから、家庭的保育について議会でも提案している。

保育士も増員しなければならず、なかなか確保が難しい状況である。

LED化の推進を

質問 高田1区自治会では、街路灯を設置する際、LED化により経費を軽減できた。

町全体でも国の補助金等を利用して街路灯をLED化できるのではないか。

回答 CO2削減の取り組みとして、国の補助金を有効に使い公共施設のLED化も実施している。

通学路の安全対策は

質問 町内の通学路では、長い距離を歩いて帰る小学生がいる。また、街灯がなく暗い場所を帰る中高生がいるが対策はどう考えているか。

回答 議会では、交通に関する調査特別委員会を設置し調査している。その中の分科会では通学路や危険箇所を実際に確認しており、取りまとめ町へ提言していく。

矢巾東小学校の

図書室は

質問 矢巾東小学校は児童数の増加に伴い、図書室を教室にしたために現在図書室がない状態である。

今後、子どもが増えていけば教室が足りなくなるのではと心配しているが、増築の予定は。

回答 現在の矢巾東小学校は児童数が少なくなってきたという状況である。

今後児童数が減った場合、今の教室を図書室に戻す予定であると聞いている。

アンケートで出された主な意見

- 参加者が少ない。積極的なPR活動を。(60代男性)
- 非常に少人数であったのが残念でした。(60代男性)
- 参加者が少なくもったいない。町政に関心のある人も多いと思うので、開催の工夫を。丁寧な回答はよかったです。(70代女性)
- 少人数でガックリ。(60代男性)

参加者が少なかったことから、「SNSやホームページを活用して」といった具体的な案も出されました。
より多くの方が懇談会に関心を持っていただけるよう、いただいたご意見を次の開催に生かしてまいります。

次回予告

参加された方からの提案もあり、次回は町内3地区で、議員を3グループに編成して開催します。各地区の皆さんからじっくりお話をお聞きしたいと考えています。たくさんのご参加をお待ちしています。

場 所	開 催 日	時 間
北郡山公民館	平成30年1月27日(土)	午後1時30分～
上赤林公民館		
白沢集落センター		

議会からのお知らせ

私も



ひとこと!

ゆっくりでいいよ 何回でもいいよ

昆 弘子さん(高田1区)



議会を傍聴する筆者(右端)

一般質問を傍聴し、議員一人一人が町の執行状況や将来に対する考え方などを町長に求め、町民のために適切な町政運営をチェックしてくれていることを理解した一時間余りでした。

特に「特別な支援の必要な子どもたちへの療育について」の質問に興味を持ちました。傍聴席にしっかり届く大きな声は、高齢の私の耳に、心にしっかりと響くものでした。矢巾町に完成した「盛岡となん支援学校」を「矢巾支援学校」の名前に、という議員の考えに、私は心の中で拍手をしました。機会があれば、特別支援学校を訪問してみたいです。子どもたちに「ゆっくりでいいよ、何回でもいいよ」と伝えたいと思います。

議会広報モニターを募集します

議会広報モニターを募集します。より分かりやすく、町民の方に親んでもらえるような議会だよりを、いっしょに作りましょう。

◎モニターは何をするの？

議会だよりなど、議会の広報活動についてのご意見をお聞かせください。モニター連絡会議を開いて、モニターの皆さんのご意見をお聞きする予定です。

◎モニターに応募できる人はどんな人？

矢巾町に住んでいる18歳以上の方であれば、どなたでも応募できます。議会の広報活動に興味のある方、大歓迎です！

◎モニターの任期は？

1年間とします。

◎モニターへの謝礼は？

無償での活動となります。

◎モニターへの申し込みは議会事務局まで

お問い合わせ・申し込み先
矢巾町議会事務局
電話 019-611-2801



- 第33回全国高等学校カヌー選手権大会
スプリント カヤックペア200m 第1位
- 第72回国民体育大会 えひめ国体
スプリント カヤックシングル200m 第3位
- カヌースプリント アジア選手権大会
カヤックペア500m 第3位



インターハイで優勝した北館・菊池ペア(筆者右側)

きく ち なつ き
菊池夏生さん(白沢行政区)

カヌーで学んだ努力と感謝

全国、そして世界の舞台の表彰台でメダルをかけている私の姿は、カヌー部に入学した頃には想像もつかなかった。

昨年、一昨年と先輩方が2年連続でインターハイ女子総合優勝を果たした。特に昨年はフォア(4人乗り)のメンバーとしてその舞台に立たせてもらい、嬉しさと同時にプレッシャーも感じた。

「総合優勝3連覇」を目標に練習を重ねたが、東北大会では強豪の山形県谷地高校に差をつけられ2位。全国で戦うためには普通の練習では勝てないと考え、インターハイメンバーで腕を痛めながらも綱登りを行ったことが、確実に力になったと感じている。

8月のインターハイ本番、500メートル競技のペアでは3位に終わり、悔しさが残ったまま200メートル競技に向かった。気持ちを切り替え、絶対できると試合前に北館選手と気合を入れて挑んだ。

レース中のことはあまり覚えていないが今までのレースで一番良いレースだったのは確かに覚えている。ゴールした瞬間は2人とも1位かどうか分からず、結果速報を聞いて優勝したことを知った。今までにないくらい叫んで飛んで喜んだ瞬間を今でも忘れない。

10月には岩手県の代表として愛媛国体、日本代表としてアジア選手権にも出場した。インターハイに向けての練習の成果がこの2つの大会での表彰台にもつながった。

ここまで来るには私1人では絶対に無理だったと思う。指導して下さった小野先生を始め、川守コーチ、阿部トレーナー、応援してくれた家族や先輩方にも感謝を伝えたい。

そして仲間でありライバルであり、唯一無二のパートナーである北館知沙がいなければこれらの結果はなかった。最高のチームメイトにも感謝したい。

表紙によせて

ふどうこども園で、年末の餅つき会が行われました。園児の皆さんは、新しい年もたくさんの福が訪れますように！との願いを込めながら、みんなで力強く大きなお餅をついていました。



あしがき

昨年から広報担当になりましたが、広報紙作成の難しさを実感しております。精進を重ね、分かりやすい広報の作成に心がけてまいります。

「音楽のまち」やはば。昨年は、多くの団体が優秀な成績を収めました。活動がさらに広がり、音楽にあふれた明るい町になることを期待します。

編集委員 水本 淳一

発行・編集責任者

議長 廣田 光男

編集委員

委員長 昆 秀一

副委員長 齊藤 正範

委員 赤丸 秀雄

水本 淳一

小川 文子